

子どもの権利に関する条例制定に向けた検討スケジュールについて

1 今後の検討スケジュール

日程	内容
令和4年3月9日	第6回委員会 （骨子案の検討）（※1）
3月29日	Teens ムサカツ 2022 春
4月12日	第7回委員会 （骨子案の完成）
5月15日～6月上旬	骨子案についてパブリックコメント及び市民意見交換会
7月7日	第8回委員会 （パブコメ対応検討、骨子案修正）
8月30日	第9回委員会 （委員会報告案の完成）
9月	委員会検討結果報告 （委員会報告書を市長に提出）
9～11月	委員会報告を受け市で条例素案作成
12月15日～1月上旬	素案についてパブリックコメント
1～2月	市で条例案を作成
2月	市議会第1回定例会に議案上程
令和5年4月1日	条例施行（子どもの権利擁護機関に係る部分以外）
令和6年度	条例施行（子どもの権利擁護機関に係る部分）（※2）

2 各成果物について

- 骨子案・・・条例の基本的な考え方を示したもの
- 委員会報告書・・・骨子案の内容を中心に、委員会の検討結果をまとめたもの
- ◆素案・・・ほぼ条例の最終形に近いもの（そのまま条文になるような形態）
- ◆条例案・・・条例そのものの案（議案）
 - → 委員会で作成
 - ◆ → 市で作成

3 子どもの権利擁護機関（子どもオンブズパーソン）に係る部分の施行時期について

子どもの権利擁護機関の実施体制整備に関しては、以下の部分について、市の内部で一定の検討・準備が必要となるため、条例の該当部分のみ、施行時期を令和6年度とする。

- ・相談機関の開設窓口（施設）の準備
- ・子どもの権利擁護委員及び相談・調査専門員の選任
- ・救済の申し立て手続き等に係る詳細な規定（※別途、条例の施行規則を市で制定する）
- ・市民への広報・周知期間

（裏面あり）

4 条例の推進体制について

(1) 計画の策定方法について

- ・既存の「子どもプラン武蔵野」を条例の推進計画とする
- ・既存の「子ども施策推進本部」(市長を本部長とする庁内組織)のもとプランを策定する
(子どもプランの策定方法については「第五次子どもプラン武蔵野」P3 参照)

※第六次子どもプラン武蔵野(令和7～11年度)から条例の内容を反映する。具体的な内容は条例制定後、第六次子どもプラン武蔵野を策定する際(令和5～6年度)に検討する。

※第六期長期計画調整計画(令和6年度～)等、その他の市の計画についても条例の内容を踏まえて策定する。

(2) 計画の推進方法について

- ・「子ども施策推進本部」のもと市の各担当部署が推進する

(3) 計画実施結果の評価・検証方法について

- ・既存の子どもプラン推進地域協議会(市の子どもの・子育て会議)にて実施する

(子どもプランの評価・検証方法については「第五次子どもプラン武蔵野」P5 参照)

※条例制定後の具体的な評価・検証方法については第六次子どもプラン武蔵野を策定する際(令和5～6年度)に検討する。

(条例の推進体制のイメージ図)

